

|                                  |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施 |          |   |                                    |                   |  |                            |                   |        |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |   |      |   |                                     |  |                                     |    |
|----------------------------------|-----|---------------------|----------|---|------------------------------------|-------------------|--|----------------------------|-------------------|--------|----------------------|--------------------------|--------|----------|---|------|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----|
| 施策番号・施策名                         | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績）                   |                   |  |                            |                   | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |   |      | H28年度<br>事業評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |    |
|                                  |     |                     |          |   | 指標名等                               | 現状値<br>（基準値）      | H28年度  | H29年度                      | H30年度             |        |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円）                                | 職位   |   |                                     |  |                                     | 人数 |
| I-1-(4)-③<br>若者の自立支援             | 1   | 若者ワークプラザ北九州運営事業     | 雇用政策課    | 若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。  | 就職決定者数                             | 1,102人<br>(H26年度) | 目標<br>1,200人<br>実績<br>1,122人<br>達成率<br>93.5% | 1,200人<br>1,200人<br>1,200人 | 1,200人<br>(H31年度) | 継続     | 71,800               | 71,552                   | 維持     | 8,995    | 課長<br>0.13人<br>係長<br>0.45人<br>職員<br>0.40人 | 順調   | H30年度は、利用者の就業レベルを的確に把握し、効果的なセミナー・講座の企画を検討するとともに、引き続き大学や専門学校などを訪問し、若者ワークプラザのPRを行い、新規利用者の開拓に努める。<br>また、マッチングの効率化を図るため、利用者のニーズに対応した求人開拓を行う作業をマニュアル化し、業務の効率化を図るとともに、マッチング率の向上を図る。 | 順調                                  | 有効求人倍率が1.5倍を記録するなど、売り手市場の雇用情勢にあるものの、就職活動を実施するにあたって課題を抱えている方、どのように働くか自信を持っていない方などは、就職活動が長期化するケースも多い。このような方たちへの支援について、関係機関とも連携を図りながら引き続き支援を実施する必要がある。                        |                                     |    |
| I-2-(1)-①<br>北九州学術研究都市の機能の充実     | 2   | 学術研究都市管理運営事業        | 新産業興課    | アジアの中核的学術研究拠点の形成と本市の産業振興拠点としての機能を高めるため、北九州学術研究都市の学術研究施設を一体的に管理・運営することで、本市の産業を支える知的基盤の充実を図る。                                     | 施設の稼働率                             | 32%<br>(H26年度)    | 目標<br>40%<br>実績<br>31%<br>達成率<br>77.5%       | 40%<br>40%<br>32%          | 33%<br>(H32年度)    | 継続     | 834,441              | 781,059                  | 減額     | 13,800   | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.40人<br>職員<br>1.00人 | 順調   | 共同利用施設の稼働率は目標に達していないが、利用者の満足度は引き続き目標を大きく上回っている。市民の利便性の向上、市民利用の増加に向けた取り組みを強化するとともに学研都市への知の集積を図り、アジアの先端産業都市を目指す。  | 順調                                  | 学研都市の一体的管理運営による産学連携施設、共同利用施設の利用促進に向けた取り組みを強化し、企業、大学等の知の集積を図ることにより施設全体の稼働率を上げる。<br>さらに、アンケート等による利用者の要望、意見を取り入れ、施設の適切な維持補修を迅速に行うことで利用者の満足度及び施設の稼働率向上につなげる。                   |                                     |    |
| I-2-(1)-③<br>最先端の研究開発を担う人材の確保・育成 | 3   | 学術研究拠点推進事業          | 新産業興課    | （公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）が行う大学間連携事業のほか、産学連携、半導体技術拠点形成、技術移転等の実施に対する支援等を行うことにより、北九州学術研究都市の研究開発拠点としての機能を高め、地域における産業技術の高度化と新たな産業の創出を図る。 | 学研都市の取り組み評価（学研都市内の大学や入居企業・研究機関の評価） | 60%<br>(H25年度)    | 目標<br>60%<br>実績<br>95.8%<br>達成率<br>159.7%    | 60%<br>60%<br>60%          | 60%<br>(H30年度)    | 継続     | 358,746              | 398,485                  | その他    | 7,325    | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.30人<br>職員<br>0.50人 | 大変順調 | 平成30年度から（公財）北九州産業学術推進機構と（公財）九州ヒューマンメディア創造センターが統合する事に伴い、関係する事業を本事業に統合した。統合により、両団体の強みを活かして各種産学連携事業や大学間連携事業等を総合的に実施していく。   | 大変順調                                | 学研都市を中心とした各種産学連携事業、大学間連携事業等をさらに効果的に実施し、最先端の研究開発を担う人材の確保・育成に寄与する。   |                                     |    |
| I-2-(2)-①<br>成長産業を支える高度人材の育成     | 4   | <新>市内大学生の地元就職促進強化事業 | 雇用政策課    | 学生の地元企業への興味関心を高めるため、大学1～2年時へのアプローチを強化し、インターンシップを活性化させる。   | インターンシップ参加者数                       | 217人<br>(H27年度)   | 目標<br>230人<br>実績<br>223人<br>達成率<br>97.0%     | 230人<br>260人<br>300人       | 330人<br>(H31年度)   | —      | —                    | 15,500                   | —      | 3,200    | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.15人<br>職員<br>0.15人 | —    | インターンシップがその後の就職活動に大きく影響を与えることから、大学1～2年時へのアプローチを強化し、地元企業のインターンシップの活性化を図る。  | —                                   | 企業の新卒採用意欲が高い傾向にあり、東京圏の大手企業等が地方大学生の獲得に積極的であるなど、市内大学生の市外就職が加速している。一方で、地元への愛着などから市内就職を希望する学生もいることから、学生が地元の街や企業への愛着を深め、学生と企業とのマッチング等を体系的に推進することで、若者の地元就職や地元定着及び地元企業の人材確保につなげる。 |                                     |    |

|   |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施                     |          |  |  |                   |                  |               |               |                   |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |              |                   |                                     |                    |   |    |   |
|---|-----|---|----------|--|--|-------------------|------------------|---------------|---------------|-------------------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|--------------|-------------------|-------------------------------------|--------------------|---|----|---|
| 施策番号・施策名                                  | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組                     | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）   |                   |                  |               |               | 成果の方向性            | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |              | H28年度<br>事業<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   |    |   |
|   |     |   |          |  | 指標名等   | 現状値<br>（基準値）      | H28年度            | H29年度         | H30年度         |                   |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位           |                   |                                     |                    |   | 人数 |   |
| I-2-(2)-②<br>地域企業の中核となる人材の育成              | 5   | 経営リーダー育成支援事業                            | 中小企業振興課  | 戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、高度技術を持った人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るために必要な専門講座を実施する。  | 実学ナレッジセミナー受講者アンケート（役立ち度）の結果（％）                                       | 92%<br>(H23年度)    | 目標<br>95 %       | 実績<br>88.6 %  | 達成率<br>93.3 % | 95%<br>(毎年度)      | 継続                   | 2,114                    | 1,888  | 減額       | 3,825      | 課長<br>0.05 人 | 係長<br>0.10 人      | 職員<br>0.30 人                        | 順調                 | 時勢や中小企業のニーズを捉えたテーマ設定、セミナー形態の検討、商工会議所その他支援機関との共同開催・連携などを通じて、より効果的<br>事業運営に努める。                             | 順調 | 中小企業における中核人材の育成に何が必要かを、時勢や中小企業へのヒアリング等を通じてニーズを捉え、他の支援機関と連携・協力して、費用対効果の高い事業運営に努める。                         |
| I-2-(3)-①<br>中小企業の後継者育成の支援                | 6   | 経営リーダー育成支援事業                            | 中小企業振興課  | 戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、高度技術を持った人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るために必要な専門講座を実施する。  | 実学ナレッジセミナー受講者アンケート（役立ち度）の結果（％）                                       | 92%<br>(H23年度)    | 目標<br>95 %       | 実績<br>88.6 %  | 達成率<br>93.3 % | 95%<br>(毎年度)      | 継続                   | 2,114                    | 1,888  | 減額       | 3,825      | 課長<br>0.05 人 | 係長<br>0.10 人      | 職員<br>0.30 人                        | 順調                 | 時勢や中小企業のニーズを捉えたテーマ設定、セミナー形態の検討、商工会議所その他支援機関との共同開催・連携などを通じて、より効果的<br>事業運営に努める。                             | 順調 | 中小企業の後継者育成のために何が必要かを、中小企業団体等へのヒアリング等を通じてニーズを捉え、専門家や他の支援機関と連携・協力して、費用対効果の高い事業運営に努める。                       |
| I-2-(3)-②<br>技術・技能を継承する人材の育成              | 7   | 北九州技能伝承推進事業                             | 雇用政策課    | 金属・機械・電気等の工業系分野を対象とした「北九州マイスター」と、暮らしに身近な生活関連・サービス産業なども含めた幅広い分野を対象とした「北九州技の達人」の2つの制度において、高度技能者を認定・表彰する。認定された高度技能者の協力の下、優れた技能を次代に継承し、地域産業の振興に貢献するための技術継承活動を推進する。 | 講演受講者と実技指導受講者の合計（累計）   | 1,473人<br>(H26年度) | 目標<br>3,500 人    | 実績<br>2,828 人 | 達成率<br>80.8 % | 8,750人<br>(H31年度) | 継続                   | 7,452                    | 10,906 | 増額       | 15,400     | 課長<br>0.35 人 | 係長<br>0.65 人      | 職員<br>0.65 人                        | 順調                 | 技能伝承講座等については、学校からの講師派遣依頼が減少していることから、学校への周知方法や時期を改善する。また、イベント参加など新たな活動の開拓に取り組むほか、マイスター・技の達人の動画公開などPRを強化する。 | 順調 | 技能伝承講座等については、学校からの講師派遣依頼が減少していることから、学校への周知方法や時期を改善する。また、イベント参加など新たな活動の開拓に取り組むほか、マイスター・技の達人の動画公開などPRを強化する。 |
| IV-1-(1)-①<br>地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備 | 8   | 【施策評価のみ】<br>地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備 | 産業政策課    | 【施策の内容】<br>地域企業が本市で元気に産業活動が行えるように、日頃から企業と情報交換を密にするとともに、市役所全体として推進体制を築き、その環境整備に努める。   | 【施策の指標】<br>地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備による、雇用創出数（H28年度以降は、H28年度からの累計） | —                 | 目標<br>単年度の目標設定なし | 実績<br>0 人     | 達成率<br>—      | 平成28年度～32年度の累計4人  | 継続                   | —                        | —      | —        | —          | 課長<br>— 人    | 係長<br>— 人         | 職員<br>— 人                           | 順調                 | 引き続き、地域企業と緊密な情報交換を行い、ビジネス展開を支援していく。局を横断する課題が発生した場合は連携を密にしながら、課題解決に向け協議を進めていく。                             |    |   |

|                                      |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施       |          |  |                                   |                           |                               |       |       |        |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |       |                   |                                     |                    |                                     |   |   |   |  |
|--------------------------------------|-----|---------------------------|----------|--|-----------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------|-------|--------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|-------|-------------------|-------------------------------------|--------------------|-------------------------------------|---|---|---|--|
| 施策番号・施策名                             | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組       | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）                  |                           |                               |       |       | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |       | H28年度<br>事業<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |   |   |   |  |
|                                      |     |                           |          |  | 指標名等                              | 現状値<br>（基準値）              | H28年度                         | H29年度 | H30年度 |        |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位    |                   |                                     |                    |                                     | 人数  |   |   |  |
| IV-1-<br>(1)-②<br>中小企業<br>の競争力<br>向上 | 9   | ビジネスチャンス拡大支援事業            | 中小企業振興課  | 技術力はあるが営業経験に乏しく、情報発信力も十分ではない地元中小企業の受注拡大・販路開拓の取組みを支援するもの。<br>①大規模展示会等出展支援<br>②巡回指導・マッチングコーディネート（公益財団法人北九州産業学術推進機構が実施）   | 大規模展示会等出展支援を行った企業の中で、商談成約に至った企業割合 | 目標<br>65 %                | 実績<br>83.3 %                  | 65 %  | 65 %  | 65 %   | 65%<br>(毎年度)         | 継続                       | 11,280 | 9,721    | 減額         | 1,980 | 課長<br>0.02 人      | 係長<br>0.10 人                        | 職員<br>0.10 人       | 大変順調                                | これまでどおり、技術力はあるが営業経験に乏しく、情報発信力も十分でない地元中小企業の販路開拓支援を実施していく。また、（公財）北九州産業学術推進機構中小企業支援センターのマネージャーの専門性・人脈等を活用し、効率的な運営に努める。 |   |   |  |
|                                      | 10  | 中小企業技術開発振興助成金             | 中小企業振興課  | 新技術・新製品開発に取り組む中小企業に対する研究開発費の助成を行うことにより、中小企業の技術開発力の向上と高付加価値企業への転換を促進する。   | 製品化・実用化の割合（%）                     | 目標<br>67%<br>(H18年度助成実施分) | 実績<br>67<br>(平成23年度助成分・5年経過後) |       |       |        | 65%<br>(助成5年後)       | 継続                       | 23,980 | 22,400   | 減額         | 3,825 | 課長<br>0.05 人      | 係長<br>0.10 人                        | 職員<br>0.30 人       | 順調                                  | 過去の助成事業の成果の公表や関係助成事業の実施機関との情報交換などを通して、市内中小企業の技術力・開発力向上に向け、さらに効果的な事業運営に努める。  |   |   |  |
|                                      | 11  | 中小企業支援センター特定支援事業          | 中小企業振興課  | 中小企業支援法第7条に基づき、（公財）北九州産業学術推進機構を指定法人として、平成14年度に北九州市中小企業支援センター（以下「中小企業支援センター」）を開設し、市内中小企業のための窓口相談・専門家派遣・情報提供など、専門的かつ総合的なサービスを提供している。市は、これらの事業を行うために必要な経費を補助している。 | 利用者アンケートによる満足度（窓口相談）              | 目標<br>90 %                | 実績<br>98 %                    | 90 %  | 90 %  | 90 %   | 90%<br>(毎年度)         | 継続                       | 24,499 | 20,823   | 減額         | 2,730 | 課長<br>0.02 人      | 係長<br>0.10 人                        | 職員<br>0.20 人       | 順調                                  | 引き続き、窓口相談、専門家派遣、情報提供などの事業を効率的・効果的に実施することで、市内中小・小規模企業を支援する。  | 順調  | 市内中小企業の競争力向上のために重要な施策であることから、引き続き取り組む必要がある。 |  |
|                                      |     |                           |          |  | 利用者アンケートによる満足度（専門家派遣）             | 目標<br>95 %                | 実績<br>100 %                   | 95 %  | 95 %  | 95 %   | 95%<br>(毎年度)         |                          |        |          |            |       |                   |                                     |                    |                                     |   |   |   |  |
|                                      | 12  | ロボット・IoT・AIを活用した生産性向上支援事業 | 新産業振興課   | 今後の実用化・普及が見込まれるロボット・IoT・AI等の新しい技術に関して、地元中小企業への積極的な導入支援策を講じることで、生産性向上や競争力の強化を図る。  | カイゼンインストラクターの育成                   | 目標<br>-<br>(H28年度)        | 実績<br>/                       | 3 名   |       | 3 名    |                      | 3名<br>(毎年度)              | 継続     | 15,000   | 5,000      | その他   | 2,865             | 課長<br>0.01 人                        | 係長<br>0.20 人       | 職員<br>0.10 人                        | -   | ロボット・IoT・AIといった新技術を導入し、生産性向上を目指す市内企業（特に中小企業）を支援する。平成29年度開講したスクール事業の結果等を踏まえ、引き続き指導者の育成を行うとともに、生産性向上の事例の創出に取り組む。なお、補助金の受領主体が市からFAISに変更となったため、平成30年度予算は減額となっている。 |   |  |
|                                      |     |                           |          |  | ロボット・IoT・AI導入事例の創出                | 目標<br>-<br>(H28年度)        | 実績<br>/                       | 3 件   |       | 3 件    |                      | 3件<br>(毎年度)              |        |          |            |       |                   |                                     |                    |                                     |   |   |   |  |



|  |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施               |             |  |                             |                    |             |             |       |        |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善    |        |          |            |    |               |                                     |                |                                     |          |   |  |  |
|--|-----|-----------------------------------|-------------|--|-----------------------------|--------------------|-------------|-------------|-------|--------|----------------------|-----------------------------|--------|----------|------------|----|---------------|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|----------|---|--|--|
| 施策番号・施策名   | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組               | 主要事業所管課名    | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）            |                    |             |             |       | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）        | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |    | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |          |   |  |  |
|  |     |                                   |             |  | 指標名等                        | 現状値<br>（基準値）       | H28年度       | H29年度       | H30年度 |        |                      |                             |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位 |               |                                     |                |                                     | 人数       |   |  |  |
| IV-1-<br>(2)-①<br>次世代自動車産業<br>拠点の形成                | 17  | 自動車産業新規<br>参入・取引拡大<br>支援事業        | 企業立地<br>支援課 | カーメーカーによる更なる地場調達促進の取組みや調達先の複数化など部品サプライチェーンの再構築が進められており、地元企業にとって自動車産業への新規参入・取引拡大の契機となっている。自動車メーカーや部品サプライヤーのニーズや取組みを捉え、地元企業の技術力等の積極的な情報発信をしながら、ビジネスマッチングの機会拡大に取り組んでいく。 | パーツネット北九州<br>会員数<br>(累計)    | 57社<br>(H21年<br>度) | 目標<br>105 社 | 実績<br>102 社 | 105 社 | 105 社  | 105 社                | 105 社                       | 継続     | 5,382    | 4,820      | 減額 | 9,300         | 課長<br>0.20 人                        | 係長<br>0.40 人   | 職員<br>0.40 人                        | 順調       | 引き続き関係機関などとの市以外のリソースを活用するとともに、人材確保に関する支援を実施する。  |  |  |
|  | 18  | 次世代自動車産業<br>拠点化事業                 | 企業立地<br>支援課 | 北九州学術研究都市における研究開発体制を強化するため、産総研・人工知能研究センター等との連携により、新たな研究開発プラットフォームを構築し、各大学の研究者の研究シーズを自動車用開発・融合することにより、人工知能を活用した安全・安心なモビリティシステムを構築する。                                  | 自動運転関連研究者<br>集積             | 35人<br>(H26年<br>度) | 目標<br>50 人  | 実績<br>59 人  | 52 人  | 54 人   | 54 人                 | 56人<br>(H31年<br>度)          | 継続     | 4,466    | 4,478      | 維持 | 8,700         | 課長<br>0.30 人                        | 係長<br>0.30 人   | 職員<br>0.30 人                        | 順調       | 北九州学術研究都市における研究開発体制を強化するため、自動運転関連研究者の更なる集積を目指し、関連企業の研究開発拠点誘致を積極的に行う。  |  |  |
|  | 19  | 次世代自動車中<br>核技術研究開発・実証<br>拠点化事業    | 企業立地<br>支援課 | 世界的に注目される自動運転の中核技術であるAIに関する研究を加速し、研究開発・実証拠点化を図るため、関係団体との連携強化、実証フィールドの提供などの取り組みを強化する。   | 企業等との共同研究<br>(累計)           | 4件<br>(H28年<br>度)  | 目標<br>2 件   | 実績<br>4 件   | 10 件  | 10 件   | 10 件                 | 10件<br>(H27~<br>31年<br>度)   | 継続     | 8,000    | 8,000      | 維持 | 8,700         | 課長<br>0.30 人                        | 係長<br>0.30 人   | 職員<br>0.30 人                        | 大変<br>順調 | 北九州学術研究都市では、自動運転関連研究者の集積により、研究開発プロジェクトの活性化、進出企業の拡大など、次世代自動車産業の研究の拠点化等を図るため、関係団体との連携強化、実証フィールドの提供などの取り組みを強化する。 |  |  |
| IV-1-<br>(2)-②<br>我が国を<br>リードする<br>ロボット産業<br>拠点の形成 | 20  | ロボットテクノロジーを<br>活用したものづくり<br>力強化事業 | 新産業<br>興課   | 新成長戦略の重点プロジェクトである、我が国をリードする「ロボット産業拠点の形成」を目指すなかで、ロボット導入による地元企業のものづくり力の強化に取り組んでいる。この一環として、「産業用ロボット導入支援センター」において、生産性向上に意欲的な地元企業へのロボット導入を総合的に支援する。                       | 地元企業のロボット<br>導入企業件数<br>(累計) | 6件<br>(H26年<br>度)  | 目標<br>18 件  | 実績<br>17 件  | 18 件  | 20 件   | 20 件                 | 50件<br>(H25~<br>31年<br>度)   | 継続     | 26,585   | 27,100     | 維持 | 19,800        | 課長<br>0.20 人                        | 係長<br>1.00 人   | 職員<br>1.00 人                        | 大変<br>順調 | 中小製造業の生産性向上におけるロボット導入を図るため、「システムインテグレータ(Sier)」のネットワークを強化する。   |  |  |
|  |     |                                   |             |  |                             | 2社<br>(H27年<br>度)  | 目標<br>4 社   | 実績<br>4 社   | 6 社   | 8 社    | 8 社                  | 10社以上<br>(H27~<br>31年<br>度) |        |          |            |    |               | 達成率<br>94.4 %                       |                |                                     |          |   |  |  |

| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施       |     |                     |              |   |                   |                |                     |  |       |        |                      |                      |        | 【Check】 評価 / 【Action】 改善                  |            |   |                   |  |                    |                                     |
|---------------------------|-----|---------------------|--------------|---|-------------------|----------------|---------------------|--|-------|--------|----------------------|----------------------|--------|---|------------|---|-------------------|--|--------------------|-------------------------------------|
| 施策番号・施策名                  | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管課名     | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績）  |                |                     |  |       | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円） | 事業費の増減 | 人件費（目安）                                   |            |   | H28年度<br>事業<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  | H28年度<br>局施策<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |
|                           |     |                     |              |   | 指標名等              | 現状値<br>（基準値）   | H28年度               | H29年度                                  | H30年度 |        |                      |                      |        | 中期<br>目標                                  | 金額<br>（千円） | 職位  |                   |  |                    |                                     |
| IV-1-(2)-③<br>素材・部材産業     | 21  | 企業立地促進事業（素材・部材）     | 企業立地支援課      | 本市への企業立地をさらに促進するため、素材・部材産業や情報通信産業の重点誘致産業を中心に誘致活動の強化を図る。                               | 新たな雇用創出数（累計）      | 210人（H25年度）    | 855人（H25～30年度）      | 855人<br>855人<br>855人                   | 継続    | 17,682 | 22,836               | 増額                   | 5,800  | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.20人<br>職員<br>0.20人 | やや遅れ       | 重点誘致産業（素材・部材）の対象企業の市外からの新規立地を促進するとともに、市内企業の増設・事業拡張に向けた支援を行い、雇用の創出拡大を目指す。<br>具体的には、営業強化のためのPRツールの作成や企業情報の集約機能の導入などの予算の増額を行った。  | やや遅れ              | 重点誘致産業（素材・部材）の対象企業の市外からの新規立地を促進するとともに、市内企業の増設・事業拡張に向けた支援を行い、雇用の創出拡大を目指す。<br>具体的には、営業強化のためのPRツールの作成や企業情報の集約機能の導入などの予算の増額を行った。 |                    |                                     |
| IV-1-(2)-④<br>航空機産業の振興    | 22  | 航空機産業誘致促進事業         | 企業立地支援課      | 今後成長が期待される航空機産業の誘致促進を図るため、「福岡県航空機産業振興会議」での取り組みを強化するとともに、裾野の広い航空機産業への市内企業の参入に向けた支援を行う。 | 航空機産業の生産拠点等の誘致件数  | 0件（H25年度）      | 1件（H34年度までの累計）      | 単年度の目標設定なし<br>単年度の目標設定なし<br>単年度の目標設定なし | 継続    | 2,500  | 2,500                | 維持                   | 3,650  | 課長<br>0.10人<br>係長<br>0.10人<br>職員<br>0.20人 | 順調         | 今後MRJの受注数増加に伴い、生産体制（月産10機）の強化が必要となる場合に備え、現在フライト関連のサブ拠点となっている北九州空港が第二の生産拠点候補に検討されるよう、引き続き環境整備及び誘致に取り組む。また、福岡県や福岡県航空機産業振興会議と連携し、地元企業の航空機産業への参入に向けセミナー開催や技術向上支援等を行い、地元企業の航空機産業に対する理解や意識の向上を図る。 | 順調                | メーカーの生産体制にかかわる情報や航空機の今後の需要動向を把握し、福岡県や福岡県航空機産業振興会議との連携を図りながら、航空機産業の生産拠点の誘致及び地元企業の航空機産業参入に向けた環境整備に努める。                         |                    |                                     |
| IV-1-(2)-⑤<br>知識サービス産業の振興 | 23  | サービス産業振興事業          | 商業・サービス産業政策課 | サービス産業の生産性向上のための啓発や具体的な活動を支援することにより、市内サービス産業の競争力向上を図る。                                | セミナー、講座の参加人数（単年度） | 25人（H26年度）     | 30人（H30年度以降毎年度）     | 25人<br>72人<br>288.0%                   | 継続    | 3,576  | 3,372                | 減額                   | 10,800 | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.40人<br>職員<br>0.60人 | 大変順調       | 市内サービス事業者の生産性向上に関する意識の更なる向上を図るため、引き続き、関係機関等と連携して成功事例や効果的なツール等を紹介していくとともに、個別具体的な取組の支援を行う。  | 大変順調              | 更に多くの市内サービス事業者の取組を支援することで、知識サービス産業の振興を進める。   |                    |                                     |
|                           |     |                     |              | 市内サービス事業者に対する取組み支援件数  | 5社（H26年度）         | 7社（H30年度以降毎年度） | 5社<br>17社<br>340.0% |  |       |        |                      |                      |        |   |            |   |                   |  |                    |                                     |

| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施                 |     |                            |           |  |                  |                      |                |              |               |                          |        |                      |                      |        | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |   |          |  |                                     |  |                                     |
|-------------------------------------|-----|----------------------------|-----------|--|------------------|----------------------|----------------|--------------|---------------|--------------------------|--------|----------------------|----------------------|--------|--------------------------|---|----------|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 施策番号・施策名                            | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組        | 主要事業所管理課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績） |                      |                |              |               |                          | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円） | 事業費の増減 | 人件費（目安）                  |   |          | H28年度<br>事業<br>評価  | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策<br>評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |
|                                     |     |                            |           |  | 指標名等             | 現状値<br>（基準値）         | H28年度          | H29年度        | H30年度         | 中期<br>目標                 |        |                      |                      |        | 金額<br>（千円）               | 職位  | 人数       |  |                                     |  |                                     |
| IV-1-(3)-①<br>成長性、経済波及効果の高い産業の重点的誘致 | 24  | 企業立地促進事業                   | 企業立地支援課   | 本市への企業立地をさらに促進するため、素材・部材産業や情報通信産業の重点誘致産業を中心に誘致活動の強化を図る。                                | 新たな雇用創出数<br>（累計） | 535人<br>（H21年度）      | 目標<br>2,700人   | 実績<br>2,785人 | 達成率<br>103.1% | 4,200人<br>（H25～30年度）     | 拡大     | 17,682               | 22,836               | 増額     | 5,800                    | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.20人<br>職員<br>0.20人 | 大変<br>順調 | 重点誘致産業（情報通信産業等）の対象企業の市外からの新規立地を促進するとともに、市内企業の増設・事業拡張に向けた支援を行い、雇用の創出拡大を目指す。<br>具体的には、営業強化のためのPRツールの作成や企業情報の集約機能の導入などの予算の増額を行った。 | 順調                                  | 重点誘致産業（情報通信産業等）の対象企業の市外からの新規立地を促進するとともに、市内企業の増設・事業拡張に向けた支援を行い、雇用の創出拡大を目指す。<br>進出候補企業毎に異なる物流・産業インフラ等の誘致訴求点の明確化を図るとともに、戦略的な誘致活動を行う必要がある。 |                                     |
|                                     | 25  | 響灘エリア誘致推進事業                | 企業立地支援課   | 若松区響灘エリアへの企業集積を促進するため、個別企業のニーズに対応した誘致活動を行う。  | 新たなビジネスにおける雇用人数  | —                    | 目標<br>単年度目標はなし | 実績<br>0人     | 達成率<br>—      | 300人<br>（H32年度）          | 継続     | 3,500                | 3,000                | 減額     | 2,900                    | 課長<br>0.10人<br>係長<br>0.10人<br>職員<br>0.10人 | 順調       | 響灘のポテンシャルを生かし、個別企業毎の訴求点の明確化を図る。  | 順調                                  | 響灘のポテンシャルを生かし、個別企業毎の訴求点の明確化を図る。  |                                     |
| IV-1-(3)-②<br>効果的な優遇制度、産業基盤などの充実    | 26  | 北九州空港跡地産業団地整備事業            | 企業立地支援課   | 北九州空港跡地産業団地の整備を行う。   | 分譲率              | 67%<br>（H25年度）       | 目標<br>77%      | 実績<br>75%    | 達成率<br>97.4%  | 分譲率<br>100%<br>（H33年度）   | 継続     | 237,293              | 211,834              | 減額     | 6,550                    | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.20人<br>職員<br>0.30人 | 順調       | 複数企業へ積極的な当該地域のPRを行い、土地のスムーズな分譲を行うために、関係各課と連携し、スピード感を持って、団地整備に取り組んでいく。  | 順調                                  | 複数企業へ積極的な当該地域のPRを行い、土地のスムーズな分譲を行うために、関係各課と連携し、スピード感を持って、団地整備に取り組んでいく。  |                                     |
| IV-1-(3)-③<br>人材供給、住環境整備などの立地支援     | 27  | <新>IT人材供給のための立地企業プロモーション事業 | 企業立地支援課   | 今後の成長が期待され、雇用吸収力の高いIT企業の誘致に向け、市内外の大学や高専等との連携や、イベント等を通じた情報発信による人材供給ネットワークを構築し、更なる集積を図る。 | 雇用創出数            | 420人<br>（H27～28年度累計） | 目標<br>200人     | 実績           | 達成率           | 1000人<br>（H27～31年度までの累計） | —      | —                    | 6,000                | —      | 7,900                    | 課長<br>0.10人<br>係長<br>0.30人<br>職員<br>0.50人 | —        | IT系企業は、本市に集積が少ないが、新たな雇用吸収力が高い。現在の企業誘致による雇用創出は、IT系企業によって支えられている。IT系企業の進出が旺盛であるこの機を活かし、採用支援を強化することで、立地インセンティブとするもの。              | —                                   | IT系企業は、本市に集積が少ないが、新たな雇用吸収力が高い。現在の企業誘致による雇用創出は、IT系企業によって支えられている。IT系企業の進出が旺盛であるこの機を活かし、採用支援を強化することで、立地インセンティブとするもの。                      |                                     |





|  |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施    |              |  |                   |              |       |       |       |                 |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |       |               |                                     |  |                                     |  |
|--|-----|------------------------|--------------|--|-------------------|--------------|-------|-------|-------|-----------------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|-------|---------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 施策番号・施策名                                     | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組    | 主要事業所管理課名    | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）  |              |       |       |       | 成果の方向性          | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |       | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |  |
|  |     |                        |              |  | 指標名等              | 現状値<br>（基準値） | H28年度 | H29年度 | H30年度 |                 |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位    |               |                                     |  |                                     | 人数   |
| IV-2-<br>(2)-①<br>高齢者を中心とした生活支援ビジネスの推進       | 31  | 健康・生活産業振興事業            | 商業・サービス産業政策課 | <p>企業、大学、医療・福祉機関、行政などが連携し、健康・介護、女性・若者、子育て・ビジネスや市民生活の質の向上に貢献するビジネス間事業者からのビジネスプランの公募による助成や、北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、企業間の交流や個別企業への具体的支援、複数企業によるサービスのパッケージ化を通して、新たなビジネスと雇用の創出を図る。</p> | 健康・生活産業における雇用の創出数 | 目標           | 5人    | 5人    | 5人    | 5人<br>(毎年度)     | 継続                   | 10,826                   | 10,209 | 減額       | 6,900      | 課長    | 0.10人         | 大変<br>順調                            | 北九州市健康・生活産業振興協議会の活動をより充実させるため、会員数の増加を図るとともに、日常生活における課題やニーズを共有し、事業者連携による複合的なビジネスモデル構築を図る。また、引き続き市民のニーズに応える新たなビジネスモデルの創出を助成し、継続、拡大できるように健康・生活産業振興協議会等を活用して適切な支援を行っていく。           | 順調                                  | 北九州市健康・生活産業振興協議会の活動を通じて、健康増進や生活支援等につながる新たなビジネスモデルが形成されるよう、同協議会の活動を促進していく。  |
|  |     |                        |              |  |                   | 実績           | 12人   |       |       |                 |                      |                          |        |          |            |       |               |                                     |  |                                     |  |
| IV-2-<br>(2)-②<br>ソーシャルビジネス創出の支援             | 32  | 健康・生活産業振興事業            | 商業・サービス産業政策課 | <p>企業、大学、医療・福祉機関、行政などが連携し、健康・介護、女性・若者、子育て・ビジネスや市民生活の質の向上に貢献するビジネス間事業者からのビジネスプランの公募による助成や、北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、企業間の交流や個別企業への具体的支援、複数企業によるサービスのパッケージ化を通して、新たなビジネスと雇用の創出を図る。</p> | 健康・生活産業における雇用の創出数 | 目標           | 5人    | 5人    | 5人    | 5人<br>(毎年度)     | 継続                   | 10,826                   | 10,209 | 減額       | 6,900      | 課長    | 0.10人         | 大変<br>順調                            | 北九州市健康・生活産業振興協議会の活動をより充実させるため、会員数の増加を図るとともに、日常生活における課題やニーズを共有し、事業者連携による複合的なビジネスモデル構築を図る。また、引き続き市民のニーズに応える新たなビジネスモデルの創出を助成し、継続、拡大できるように健康・生活産業振興協議会等を活用して適切な支援を行っていく。           | 大変<br>順調                            | 北九州市健康・生活産業振興協議会の活動を通じて、地域社会の課題解決につながる新たなビジネスモデルが形成されるよう、同協議会の活動を促進していく。   |
|  |     |                        |              |  |                   | 実績           | 12人   |       |       |                 |                      |                          |        |          |            |       |               |                                     |  |                                     |  |
| IV-2-<br>(2)-③<br>サービス産業の高付加価値の推進及び情報通信産業の集積 | 33  | 学術研究拠点推進事業（情報通信産業振興事業） | 新産業興課        | <p>ICTを活用して既存産業の高度化や新規事業の創出、地域経済社会の発展に資することを目的に設立されたヒューマンメディア財団と連携し、ICT産業の振興に寄与するための施策を実施する。</p>   | セミナーの参加者数         | 目標           | 400人  | 400人  | 200人  | 200人<br>(H30年度) | 縮小                   | 43,330                   | 32,838 | その他      | 1,450      | 課長    | 0.05人         | 大変<br>順調                            | 本事業では、ICT技術をはじめとした先端技術（IoT/AI/BDなど）を習得し活用できるデジタル人材の育成を目的とした講座の開催を拡充し、ならびにビジネスモデル創出に繋がるマッチング活動の強化を図る。また、実践型ICT人材の育成を継続的に取り組み、ICT等を活用した地域課題の解決に資するビジネスモデルの創出に組み、市内産業の振興・発展に寄与する。 | 大変<br>順調                            | ICT技術をはじめとした先端技術（IoT/AI/BDなど）を習得し活用できるデジタル人材の育成を強化・拡充する。今後も引き続き、情報通信産業の集積と発展に取り組み、さらに先端技術を活用したビジネスモデル創出や生産性向上に取り組むことで、市内産業の振興・発展に寄与する。 |
|  |     |                        |              |  |                   | 実績           | 406人  |       |       |                 |                      |                          |        |          |            |       |               |                                     |  |                                     |  |
|  |     |                        |              |  | 講座の受講者延べ人数        | 目標           | 100人  | 100人  | 100人  | 100人<br>(毎年度)   |                      |                          |        |          | 課長         | 0.05人 |               |                                     |  |                                     |  |
|  |     |                        |              |  | 実績                | 276人         |       |       | 達成率   |                 | 276.0%               |                          |        |          |            |       | 職員            | 0.05人                               |  |                                     |  |

| 施策番号・施策名                               | No.    | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管理課名    | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）     |              |       |        |                        | 成果の方向性                  | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円） | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |                        | H28年度<br>事業<br>評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   | H28年度<br>局施策<br>評価  | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   |   |
|--|--------|---------------------|--------------|--|----------------------|--------------|-------|--------|------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|--------|----------|------------|------------------------|-------------------|---|---|---|---|
|  |        |                     |              |  | 指標名等                 | 現状値<br>（基準値） | H28年度 | H29年度  | H30年度                  |                         |                      |                      |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位                     |                   |   |   |   | 人数  |
| IV-2-(2)-④<br>サービス産業への<br>支援の充実        | 34     | サービス産業振興事業          | 商業・サービス産業政策課 | サービス産業の生産性向上のための啓発や具体的な活動を支援することにより、市内サービス産業の競争力向上を図る。   | セミナー、講座の参加人数（単年度）    | 目標           | 25人   | 25人    | 30人                    | 30人<br>(H30年度以降<br>毎年度) | 継続                   | 3,576                | 3,372  | 減額       | 10,800     | 課長                     | 0.20人             | 大変<br>順調  | 市内サービス事業者の生産性向上に関する意識の更なる向上を図るため、引き続き、関係機関等と連携して成功事例や効果的なツール等を紹介していくとともに、個別具体的な取組の支援を行う。  | 大変<br>順調  | 取組の支援を通じて、生産性向上モデルが継続するようにフォローアップを行っていく必要がある。   |
|  |        |                     |              |  |                      | 実績           | 72人   |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            | 7社<br>(H30年度以降<br>毎年度) | 係長                |   |   |   |   |
| 達成率                                    | 288.0% |                     |              | 職員   |                      | 0.60人        |       |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
|  |        |                     |              | 市内サービス事業者に対する取組み支援件数   | 目標                   | 5社           | 5社    | 7社     | 7社<br>(H30年度以降<br>毎年度) | 継続                      | 5,500                | 4,900                | 減額     | 9,050    | 課長         | 0.20人                  | 順調                | セミナーや交流会の内容充実を図る。また、イベントを活用し、6次産品の情報発信を行うとともに、東京事務所の移転を活用した首都圏でのPRや販路拡大を図る。   | 順調  | 市内農林水産物や6次産業化商品の認知度向上のため、直売所等売場での消費宣伝PRを充実させるとともに、様々な情報発信方法を利用してPRを行うことにより、市民への周知を図る。<br>また、6次産業化に関するセミナーや交流会の内容充実を図る。  |   |
| 実績                                     | 17社    |                     |              |  | 35件<br>(H32年度)       | 係長           | 0.30人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
| 達成率                                    | 340.0% |                     |              |  |                      | 職員           | 0.50人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
| IV-2-(3)-①<br>地元産品の6次産業化など<br>ビジネス化の推進 | 35     | 6次産業化推進事業           | 食の魅力創造・発信室   | 農林漁業者が「自ら生産物の加工・販売」を行う6次産業化や、商工業者との連携により「農工商連携」などにより、生産物の付加価値を向上させ、所得の向上や地域の活性化を図る取組みを支援する。  | 6次産業化の取組による雇用増（人）※累計 | 目標           | 3人    | 3人     | 3人                     | 3人<br>(H32年度)           | 継続                   | 5,500                | 4,900  | 減額       | 9,050      | 課長                     | 0.20人             | 順調  | セミナーや交流会の内容充実を図る。また、イベントを活用し、6次産品の情報発信を行うとともに、東京事務所の移転を活用した首都圏でのPRや販路拡大を図る。   | 順調  | 市内農林水産物や6次産業化商品の認知度向上のため、直売所等売場での消費宣伝PRを充実させるとともに、様々な情報発信方法を利用してPRを行うことにより、市民への周知を図る。<br>また、6次産業化に関するセミナーや交流会の内容充実を図る。  |
|  |        |                     |              |  |                      | 実績           | 1人    |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            | 35件<br>(H32年度)         | 係長                |   |   |   |   |
| 達成率                                    | 33.3%  |                     |              | 職員   |                      | 0.50人        |       |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
|  |        |                     |              | 展示商談会出展における商談成立件数（件）※累計  | 目標                   | 30件          | 35件   | 35件    | 35件<br>(H32年度)         | 継続                      | 10,486               | 9,225                | 減額     | 12,300   | 課長         | 0.20人                  | 順調                | 市内農林水産物の認知度向上のために、地産地消サポーター制度を活用した情報提供を充実させるほか、交流や連携の促進を図り、地産地消をすすめる。<br>さらに、イベント等で市内農林水産物の消費宣伝を行うとともに、特に、小倉都心部でのイベントにおいて、農林水産物や直売所等をPRするパンフレットやパネルを設置するなど、市民への周知を図る。 | 順調  | 市内農林水産物の認知度向上のために、地産地消サポーター制度を活用した情報提供を充実させるほか、交流や連携の促進を図り、地産地消をすすめる。<br>さらに、イベント等で市内農林水産物の消費宣伝を行うとともに、特に、小倉都心部でのイベントにおいて、農林水産物や直売所等をPRするパンフレットやパネルを設置するなど、市民への周知を図る。 |   |
| 実績                                     | 27件    |                     |              |  | 16億円<br>(H32年度)      | 係長           | 0.40人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
| 達成率                                    | 90.0%  |                     |              |  |                      | 職員           | 0.80人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
|  | 36     | 地元いちばん・地産地消推進事業     | 食の魅力創造・発信室   | 市内の農林水産物の応援団として、地産地消サポーター制度を運営する。生産者、消費者、飲食・販売店、加工・製造業の各サポーターへの情報提供を行い、交流や連携の促進を図り、地産地消を推進する。また、イベント等で積極的に市内産農林水産物の消費宣伝を行うとともに農林水産物や直売所等をPRするパンフレット等により、市民への周知を図る。 | 直売所等の販売額（億円）         | 目標           | 15億円  | 15.7億円 | 15.8億円                 | 16億円<br>(H32年度)         | 継続                   | 10,486               | 9,225  | 減額       | 12,300     | 課長                     | 0.20人             | 順調  | 市内農林水産物の認知度向上のために、地産地消サポーター制度を活用した情報提供を充実させるほか、交流や連携の促進を図り、地産地消をすすめる。<br>さらに、イベント等で市内農林水産物の消費宣伝を行うとともに、特に、小倉都心部でのイベントにおいて、農林水産物や直売所等をPRするパンフレットやパネルを設置するなど、市民への周知を図る。 | 順調  | 市内農林水産物の認知度向上のために、地産地消サポーター制度を活用した情報提供を充実させるほか、交流や連携の促進を図り、地産地消をすすめる。<br>さらに、イベント等で市内農林水産物の消費宣伝を行うとともに、特に、小倉都心部でのイベントにおいて、農林水産物や直売所等をPRするパンフレットやパネルを設置するなど、市民への周知を図る。 |
| 実績                                     | 15億円   |                     |              | 16億円<br>(H32年度)  |                      | 係長           | 0.40人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |
| 達成率                                    | 100.0% |                     |              |  |                      | 職員           | 0.80人 |        |                        |                         |                      |                      |        |          |            |                        |                   |   |   |   |   |

| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施                |                     |                     |   |  |                  |                        |   |         |         |                        |                      |                      |         |          | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |              |               |                                     |                |  |    |   |
|------------------------------------|---------------------|---------------------|---|--|------------------|------------------------|---|---------|---------|------------------------|----------------------|----------------------|---------|----------|--------------------------|--------------|---------------|-------------------------------------|----------------|--|----|---|
| 施策番号・施策名                           | No.                 | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管理課名                                       | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績） |                        |   |         |         | 成果の方向性                 | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円） | 事業費の増減  | 人件費（目安）  |                          |              | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  |    |   |
|                                    |                     |                     |   |  | 指標名等             | 現状値<br>（基準値）           | H28年度   | H29年度   | H30年度   |                        |                      |                      |         | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円）               | 職位           |               |                                     |                |  | 人数 |   |
| IV-2-(3)-②<br>農林水産業の生産基盤の整備や担い手の育成 | 37                  | 人づくり担い手対策事業         | 農林課   | 新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援などを行い、農業分野における担い手を育成・確保する。   | 市内で新規就農した者       | 5件<br>(H22年度)          | 目標<br>24 件<br>実績<br>27 件<br>達成率<br>112.5 %      | 28 件    | 29 件    | 40件<br>(H32年度)         | 継続                   | 20,584               | 18,392  | 減額       | 9,150                    | 課長<br>0.10 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.80 人                        | 大変順調           | 農家経営における経営部門の精査や、規模拡大による農家収益の向上につながるよう指導・助言を継続する。  | 順調 | 人づくり担い手対策事業については、現状を踏まえ、事業内容を精査し、より効果的な事業としていく。<br>また、有毛地区ほ場整備事業については、完成後のほ場の担い手候補者と協議を行い、効率の良いほ場整備を行うため対象エリアを厳選する。   |
|                                    | 本市目標所得を達成した認定農業者の割合 | 8.8%<br>(H22年度)     | 目標<br>26 %<br>実績<br>34.1 %<br>達成率<br>131.2 %    | 27 %   | 28 %             | 30%<br>(H32年度)         |   |         |         |                        |                      |                      |         |          |                          |              |               |                                     |                |  |    |   |
| IV-2-(3)-③<br>環境に配慮した農林水産業の推進      | 38                  | 有毛浜田地区ほ場整備事業        | 農林課   | 若松区有毛浜田地区において、農業の生産基盤としてほ場整備を行い、耕作放棄地の解消や耕地集積・集約化を進め、また担い手の確保に取り組むとともに、稲作等から高収益作物への転換を行う。  | 基盤整備面積<br>(ha)   | —                      | 目標<br>—<br>実績<br>—<br>達成率<br>—                  | —       | —       | 4.5ha<br>(H32年度)       | —                    | 11,600               | 0       | 減額       | 6,325                    | 課長<br>0.05 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.50 人                        | —              | 完成後のほ場の担い手候補者と協議を行い、効率の良いほ場整備を行うため対象エリアを厳選する。<br>なお、H30年度は事業実施に向け、国や県との協議を実施するため、予算計上は行っていない。  | 順調 | —   |
|                                    | 活用された竹材量            | —                   | 目標<br>300 t<br>実績<br>297 t<br>達成率<br>99.0 %     | 300 t  | 400 t            | 400t<br>(H30年度以降毎年)    |   |         |         |                        |                      |                      |         |          |                          |              |               |                                     |                |  |    |   |
| IV-2-(3)-③<br>環境に配慮した農林水産業の推進      | 39                  | 放置竹林対策事業            | 農林課   | 管理されていない竹林の増加により、森林景観の悪化や保水力の低下による災害の危険性が問題となっている。このような竹林の拡大防止のため、管理竹林への再生を行う。さらに、竹の粉砕機を市民に無料で貸し出しを行っている。                                  | 活用された竹材量         | —                      | 目標<br>300 t<br>実績<br>297 t<br>達成率<br>99.0 %     | 300 t   | 400 t   | 400t<br>(H30年度以降毎年)    | 拡大                   | 6,000                | 15,300  | 増額       | 1,480                    | 課長<br>0.02 人 | 係長<br>0.05 人  | 職員<br>0.10 人                        | 順調             | 民間ベースでの事業化に向けては、大量かつ安定的な竹材の集材システム構築が課題となっている。そのため、既存事業に加え、竹林伐採モデル事業を新たに開始し、事業化に向け集材量拡大を目指す。<br>また、竹粉砕機の貸し出しについては、これまで通り継続して行い、市民が竹林整備に取り組みやすい環境づくりを行う。 | 順調 | 放置竹林対策については、既存事業の変更点の説明や新規事業の事業実施箇所の選定などを徹底して行い、事業目標達成に向け事業を行う。<br>また、里海づくりは自然環境の変化に左右されずに、市民に新鮮で安全・安心な水産物を安定的に供給するために藻場・干潟の再生、漁場の整備、魚介類の放流を継続すると共に、漁場環境の悪化に対応するため対策を検討する必要がある。 |
|                                    | 市内水産物の年間漁獲量         | 4,069t<br>(H26年)    | 目標<br>4,300 t<br>実績<br>3,980 t<br>達成率<br>92.6 % | 4,300 t  | 4,300 t          | 4,300t<br>(毎年、H28-H32) |   |         |         |                        |                      |                      |         |          |                          |              |               |                                     |                |  |    |   |
| IV-2-(3)-③<br>環境に配慮した農林水産業の推進      | 40                  | 里海づくり推進事業           | 水産課   | 人と自然が共生し、豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民が海とふれあえる沿岸環境を実現するため、「里海づくり」を推進する。藻場・干潟の再生、漁場の整備、魚介類の放流などを行い、豊かな海をつくり、漁業経営の安定化を図るとともに、市民に新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給する。 | 市内水産物の年間漁獲量      | 4,069t<br>(H26年)       | 目標<br>4,300 t<br>実績<br>3,980 t<br>達成率<br>92.6 % | 4,300 t | 4,300 t | 4,300t<br>(毎年、H28-H32) | 継続                   | 117,387              | 117,187 | 維持       | 21,925                   | 課長<br>0.20 人 | 係長<br>0.95 人  | 職員<br>1.35 人                        | 順調             | 全国的に沿岸漁業の年間漁獲量は激減しており、北九州市も同様の傾向を示しているが、年間漁獲量の減少に歯止めをかけ、成果目標を達成するためには「藻場の造成」や「種苗放流」などの里海づくりを継続して行う必要がある。さらに、漁場の環境悪化や課題解決に向けて、調査を行い対策を検討する。             | 順調 | 全国的に沿岸漁業の年間漁獲量は激減しており、北九州市も同様の傾向を示しているが、年間漁獲量の減少に歯止めをかけ、成果目標を達成するためには「藻場の造成」や「種苗放流」などの里海づくりを継続して行う必要がある。さらに、漁場の環境悪化や課題解決に向けて、調査を行い対策を検討する。                                      |
|                                    | 市内水産物の年間漁獲量         | 4,069t<br>(H26年)    | 目標<br>4,300 t<br>実績<br>3,980 t<br>達成率<br>92.6 % | 4,300 t  | 4,300 t          | 4,300t<br>(毎年、H28-H32) |   |         |         |                        |                      |                      |         |          |                          |              |               |                                     |                |  |    |   |

|                                       |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施 |          |   |                                       |              |          |           |           |                        |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |
|---------------------------------------|-----|---------------------|----------|---|---------------------------------------|--------------|----------|-----------|-----------|------------------------|----------------------|--------------------------|---------|----------|------------|--------------|---------------|-------------------------------------|----------------|---|------|---|
| 施策番号・施策名                              | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管理課 | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績）                      |              |          |           |           | 成果の方向性                 | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円)     | 事業費の増減  | 人件費（百円）  |            |              | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   |      |   |
|                                       |     |                     |          |   | 指標名等                                  | 現状値<br>(基準値) | H28年度    | H29年度     | H30年度     |                        |                      |                          |         | 中期<br>目標 | 金額<br>(千円) | 職位           |               |                                     |                |   | 人数   |   |
| IV-2-(3)-④<br>農林水産業と市民との交流            | 41  | 総合農事センター管理運営事業      | 総合農事センター | 総合農事センターは、「農業の振興」、「市民と農業の接点」、「憩いの場の提供」を基本方針として、都市型農業の振興を図るために農業に関する試験研究や展示栽培など営農問題の解決の一翼を担うほか、市民に農業を紹介し、学び、理解を深める施設として運営する。 | 総合農事センター入場者数                          | 目標           | 320 千人   | 320 千人    | 320 千人    | 400千人<br>(H31年度)       | 継続                   | 56,714                   | 55,228  | 維持       | 38,250     | 課長<br>0.50 人 | 係長<br>1.00 人  | 職員<br>3.00 人                        | 順調             | 公園区域において、指定管理者制度を導入する。民間事業者の発想を取り入れた創意工夫によって利用者へのサービスを向上させ、来園者の増加を図る。職員業務を試験研究区域に集中させることによって、より一層の農業振興を図っていく。体験学習についても、小中高から支援学校まで幅広く積極的に受け入れ、農業を学び、理解を深めもらう。 | 順調   | 一部区域について指定管理者制度を導入することにより、利用者へのサービスを向上させ、集客増加を図る。それとともに、管理運営に係る経費削減や施設管理を円滑かつ効率・効果的に進める。  |
|                                       |     |                     |          |   |                                       | 実績           | 353 千人   |           |           |                        |                      |                          |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |
| IV-2-(3)-⑤<br>農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化 | 42  | 水産物供給基盤整備事業（補助）     | 水産課      | 漁業活動の効率化や防災機能の強化を図るため、水産物供給基盤（防波堤、岸壁、護岸、航路、泊地、棧橋、道路など）を整備する。  | 市内水産物の年間漁獲量                           | 目標           | 4,300 t  | 4,300 t   | 4,300 t   | 4,300t<br>(毎年、H28-H32) | 継続                   | 246,700                  | 285,335 | 増額       | 23,750     | 課長<br>0.25 人 | 係長<br>0.25 人  | 職員<br>2.45 人                        | 順調             | 「漁港施設機能保全計画」を基に、既存施設の長寿命化、機能保全の推進を行い、危機管理体制の確立、防災機能強化に引き続き取り組んでいく。<br>H30年度は新たに、生産拠点漁港に位置付けられている藍島漁港において機能の診断を行う。   | 順調   |   |
|                                       |     |                     |          |   |                                       | 実績           | 3,980 t  |           |           |                        |                      |                          |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |
| IV-2-(3)-⑤<br>農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化 | 43  | 有害野生鳥獣被害対策事業        | 鳥獣害対策課   | イノシシ・サルなどの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払いのほか、市民相談や現地対応、市民啓発等を実施する。  | イノシシによる農作物被害額                         | 目標           | 3,069 千円 | 3,048 千円  | 3,048 千円  | 3,048千円/年以下<br>(H30年度) | 継続                   | 15,475                   | 12,915  | 減額       | 9,700      | 課長<br>0.30 人 | 係長<br>0.40 人  | 職員<br>0.30 人                        | やや遅れ           | 有害鳥獣対策として、生ゴミやペットの餌の適切な管理などイノシシやサルを寄せ付けないまちづくりに向け市民と協働した事業を充実する。また、有害捕獲実施者へのICTを活用した効率的な捕獲などの支援を充実する。   | 順調   | 水産物供給基盤事業については、「漁港施設機能保全計画」を基に、既存施設の長寿命化、機能保全の推進を行い、危機管理体制の確立、防災機能強化に引き続き取り組んでいく。<br>また、有害鳥獣対策は市民と協働した事業、動物との遭遇時に注意する内容を記載したチラシ配布などの啓発事業などを充実していく。<br>さらに、農作物生産振興対策事業は、平成28年度の成果指標の実績でGAPに取り組み生産者組織の割合が目標を上回っているため、この取組を継続する。 |
|                                       |     |                     |          |   |                                       | 実績           | 3,192 千円 |           |           |                        |                      |                          |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |
| IV-2-(3)-⑤<br>農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化 | 44  | 農作物生産振興対策事業         | 農林課      | 農業者が農業に関する正しい知識を理解し、適正に使用し、安全な農産物を生産する状態にする。  | 農作物の安全・安心確保（GAP〔農業生産工程管理〕）に取組む生産組織の割合 | 目標           | 20.0 %   | 28.0 %    | 56.0 %    | 60%<br>(H32年度)         | 継続                   | 1,865                    | 1,769   | 減額       | 6,150      | 課長<br>0.10 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.40 人                        | 大変順調           | 平成28年度の成果指標の実績でGAPに取り組み生産者組織の割合が目標を上回っているため、この取組を継続する。  | 大変順調 | そして、老朽ため池対策事業は、九州北部豪雨災害における朝倉市のため池決壊事故を受け、ため池の調査対象範囲を拡大し、災害を未然に防止する対策を講じる。  |
|                                       |     |                     |          |   |                                       | 実績           | 56.0 %   |           |           |                        |                      |                          |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |
| IV-2-(3)-⑤<br>農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化 | 45  | 老朽ため池災害対策事業         | 農林課      | 災害によるため池の決壊を防止するため、ため池の調査を実施し、改修等の対策を講じる。   | ため池の利用状況等現状調査の進捗率（%）                  | 目標           |          | 単年度目標設定なし | 単年度目標設定なし | 100%<br>(H31年度)        | —                    | 3,000                    | 10,000  | 増額       | 6,325      | 課長<br>0.05 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.50 人                        | —              | 九州北部豪雨災害における朝倉市のため池決壊事故を受け、ため池の調査対象範囲を拡大し、災害を未然に防止する対策を講じる。   | —    |   |
|                                       |     |                     |          |   |                                       | 実績           |          |           |           |                        |                      |                          |         |          |            |              |               |                                     |                |   |      |   |

|                                     |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施    |          |  |                                  |                   |        |        |             |                      |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |             |               |  |  |  |
|-------------------------------------|-----|------------------------|----------|--|----------------------------------|-------------------|--------|--------|-------------|----------------------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|-------------|---------------|--|--|--|
| 施策番号・施策名                            | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組    | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）                 |                   |        |        |             | 成果の方向性               | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |             | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  | H28年度<br>局施策評価                           | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  |
|                                     |     |                        |          |  | 指標名等                             | 現状値<br>（基準値）      | H28年度  | H29年度  | H30年度       |                      |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位          |               |  |  |  |
| IV-3-<br>(1)-①<br>中小企業<br>の人材不足への対応 | 46  | 集まれ若者！キタキュー就職促進事業      | 雇用政策課    | 地元企業情報の提供・マッチングの機会の創出、地元企業の若年者採用支援を行い、市内外の学生の地元企業への就職と市内定住の促進を図る。  | 合同会社説明会参加者数                      | 1,682人<br>(H26年度) | 1,740人 | 1,780人 | 1,800人      | 1,820人<br>(H31年度)    | 継続                   | 20,790                   | 17,790 | 減額       | 11,200     | 課長<br>0.05人 | やや遅れ          | 合同会社説明会において実施する学生向けセミナーの内容を充実すること等により、参加者数の増加に努め、企業と学生とのマッチングの強化を図った。また、地元企業見学バスツアーについては、参加者の増加を図ったが、参加者は伸び悩んでいる。そこで、来年度はバスツアーを見直し、インターンシップ等の地元就職に直結しやすい取り組みに尽力することとする。  |  |  |
|                                     |     |                        |          | 地元企業見学バスツアー参加者数  | 426人<br>(H26年度)                  | 354人              | 350人   |        |             | 係長<br>0.35人          |                      | 職員<br>0.95人              |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     |     |                        |          | 達成率  | 93.3%                            |                   |        |        |             |                      |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     | 47  | 北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト | 雇用政策課    | 本市へのU・Iターン就職希望者に対する地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、若年人材等の地元への還流を促進するため、学生等に対するU・Iターン就職活動支援の拡充を図る。         | U・Iターン就職者数（H27年度以降はH27年度からの累計表示） | 142人<br>(H27年度)   | 400人   | 600人   | 800人        | 1,000人<br>(H27～31年度) | 継続                   | 24,550                   | 22,025 | 減額       | 7,875      | 課長<br>0.05人 | 順調            | H28年度はU・Iターン就職決定者数が過去最高の163名を記録した。H29年度も順調に推移しており、H30年度においても目標の1,000名を捉えるよう、首都圏での移住フェア（ブース出展）や夏季・冬季での相談会（広報キャンペーン）などのイベントを開催し、登録者の確保並びに就職者数の増を目指す。   |  | 有効求人倍率が1.5倍を記録するなど、「売り手市場」の雇用情勢において、中小をはじめとする市内企業の人手不足の状況は強まっている。そういった状況に対し、市内での合同会社説明会の開催や市外在住のU・Iターン就職希望者と市内企業のマッチングなど引き続き取り組むとともに、平成30年度では新たに求職者・求人企業双方のニーズが高まっている「第二新卒」が対象の転職フェアと連動した福岡市内での合同会社説明会、東京・北九州を結ぶオンライン会社説明会の開催を通じて、課題解決に取り組む。 |
|                                     |     |                        | 実績       | 305人   |                                  |                   |        |        | 係長<br>0.10人 | 職員<br>0.84人          |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     |     |                        | 達成率      | 76.3%  |                                  |                   |        |        |             |                      |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     | 48  | <新>「第二新卒」採用促進プロジェクト    | 雇用政策課    | 「20代・30代で初めて転職を行う層＝第二新卒」と捉え、民間転職フェアへの出展に合わせた市内企業の合同説明会の開催、オンラインによる会社説明会の実施等の取組を強力に推進し、未経験者の積極採用を行う市内企業への就職促進を図る。 | 市内企業への就職決定者数                     | —                 |        |        | 50人         | 50人<br>(H30年度)       | —                    | —                        | 9,000  | —        | 8,995      | 課長<br>0.13人 | —             | 有効求人倍率が1.5倍を記録するなど「売り手市場」による市内企業の人手不足は深刻化しており、「第二新卒」や未経験者の採用も増えてきている状況である。また、第二新卒を対象としたアンケートでは、約7割の市内在住の方が転職を考える際に北九州市を考えているという結果が出ている。こうした状況をふまえて、H30年度は20代・30代で初めての転職を行う層＝「第二新卒」をターゲットとした就職支援を実施することで、市内企業・求職者双方の支援を図っていく。 | 市内中小企業の人材確保の状況や支援のニーズを踏まえ、引き続き取り組む必要がある。 |  |
|                                     |     |                        | 実績       |  |                                  |                   |        |        | 係長<br>0.45人 | 職員<br>0.40人          |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     |     |                        | 達成率      |  |                                  |                   |        |        |             |                      |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     | 49  | ものづくり中小企業・女性職場環境改善支援事業 | 中小企業振興課  | ものづくり分野での女性の人材確保や定着を支援するため、市内の中小製造業者・建設業者が女性専用設備（トイレ、更衣室、休憩室等）の設置など、女性が働きやすい職場環境の改善に取り組む際に、必要な経費の一部を助成する。        | 助成金を活用する企業数                      | —                 |        |        |             | 18社<br>(H29～31年度)    | —                    | 3,000                    | 3,000  | 維持       | 3,075      | 課長<br>0.05人 | —             | 過去の助成事業の成果を積極的に公表することで、市内中小企業の女性の働きやすい職場環境の整備に向け、さらに効果的な事業運営に努める。  |  |  |
|                                     |     |                        | 実績       |  |                                  |                   |        |        | 係長<br>0.10人 | 職員<br>0.20人          |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |
|                                     |     |                        | 達成率      |  |                                  |                   |        |        |             |                      |                      |                          |        |          |            |             |               |  |  |  |

|  |                        | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施     |  |  |   |  |  |                            |                   |            |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |   |   |  |   |                                     |  |                                     |
|--|------------------------|-------------------------|--|--|---|--|--|----------------------------|-------------------|------------|----------------------|--------------------------|--------|---|---|--|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 施策番号・施策名                                 | No.                    | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組     | 主要事業所管課名   | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）                              |  |  |                            |                   | 成果の方向性     | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円)     | 事業費の増減 | 人件費（目安）                                   |   |  | H28年度<br>事業評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価   | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） |
|  |                        |                         |  |  | 指標名等  | 現状値<br>(基準値)                             | H28年度  | H29年度                      | H30年度             |            |                      |                          |        | 中期<br>目標                                  | 金額<br>(千円)                                | 職位   |   |                                     |  |                                     |
| IV-3-<br>(1)-②<br>地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進 | 50                     | 若者ワークプラザ北九州運営事業         | 雇用政策課  | 若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。                                 | 就職決定者数  | 1,102人<br>(H26年度)                        | 目標<br>1,200人<br>実績<br>1,122人<br>達成率<br>93.5% | 1,200人<br>1,200人<br>1,200人 | 1,200人<br>(H31年度) | 継続         | 71,800               | 71,552                   | 維持     | 8,995                                     | 課長<br>0.13人<br>係長<br>0.45人<br>職員<br>0.40人 | 順調   | H30年度は、利用者の就業レベルを的確に把握し、効果的なセミナー・講座の企画を検討するとともに、引き続き大学や専門学校などを訪問し、若者ワークプラザのPRを行い、新規利用者の開拓に努める。<br>また、マッチングの効率化を図るため、利用者のニーズに対応した求人開拓を行う作業をマニュアル化し、業務の効率化を図るとともに、マッチング率の向上を図る。 | 順調                                  | 人手不足の状況にある市内企業の支援を目的に、既存の若者ワークプラザを活用した求職者と市内企業のマッチング、市外在住のU・Iターン就職希望者と市内企業のマッチング、東京圏の大学生の市内企業でのインターンシップや福岡市内での新卒を対象とした合同会社説明会の開催、また転職ニーズの高まっている「第二新卒」と市内企業のマッチングに向けた転職フェアと連動した会社説明会の実施などにより、課題解決に取り組む。 |                                     |
|  | 51                     | <新>市内大学生の地元就職促進強化事業     | 雇用政策課  | 学生の地元企業への興味関心を高めるため、大学1～2年時へのアプローチを強化し、インターンシップを活性化させる。  | インターンシップ参加者数                                  | 217人<br>(H27年度)                          | 目標<br>230人<br>実績<br>223人<br>達成率<br>97.0%     | 260人<br>300人               | 330人<br>(H31年度)   | —          | —                    | 15,500                   | —      | 3,200                                     | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.15人<br>職員<br>0.15人 | —  | インターンシップがその後の就職活動に大きく影響を与えることから、大学1～2年時へのアプローチを強化し、地元企業のインターンシップの活性化を図る。  |                                     |  |                                     |
|  | 52                     | <新>「九州の大学生向け」市内就職魅力発信事業 | 雇用政策課  | 福岡市内の大規模校を中心に、大学の就職支援部門との連携を深め、学生への市内企業やまちの魅力に触れる機会を提供するほか、福岡市内で就職活動する大学生と市内企業とのマッチングを促進し、九州一円の大学生の市内就職、市内還流につなげる。 | インターンシップバスマターの参加者数<br><br>福岡で開催する合同会社説明会の参加者数 | —<br><br>—                               | 目標<br>—<br>実績<br>—<br>達成率<br>—               | 50人<br><br>150人            | —<br><br>—        | —<br><br>— | —<br><br>6,500       | —<br><br>—               | 3,200  | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.15人<br>職員<br>0.15人 | —   | 県内の大学生のインターンシップバスマターや九州一円の大学生が就職活動する福岡市での合同会社説明会の開催などにより、大学生の市内就職、市内還流を図る。   |   |                                     |  |                                     |
| 53                                       | 北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト | 雇用政策課                   | 本市へのU・Iターン就職希望者に対する地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、若年人材等の地元への還流を促進するため、学生等に対するU・Iターン就職活動支援の拡充を図る。 | U・Iターン就職者数（H27年度以降はH27年度からの累計表示）   | 142人<br>(H27年度)                               | 目標<br>400人<br>実績<br>305人<br>達成率<br>76.3% | 600人<br>800人                                 | 1,000人<br>(H27～31年度)       | 継続                | 24,550     | 22,025               | 減額                       | 7,875  | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.10人<br>職員<br>0.84人 | 順調  | H28年度はU・Iターン就職決定者数が過去最高の163名を記録した。H29年度も順調に推移しており、H30年度においても目標の1,000名を捉えるよう、首都圏での移住フェア（ブース出展）や夏季・冬季での相談会（広報キャンペーン）などのイベントを開催し、登録者の確保並びに就職者数の増を目指す。 |   |                                     |  |                                     |

|   |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施    |          |  |  |              |        |        |        |        |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |   |               |   |                |  |    |
|---|-----|------------------------|----------|--|--|--------------|--------|--------|--------|--------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|---|---------------|---|----------------|--|----|
| 施策番号・施策名  | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組    | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）                         |              |        |        |        | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円)     | 事業費の増減 | 人件費（百円）  |            |   | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  |    |
|   |     |                        |          |  | 指標名等                                     | 現状値<br>(基準値) | H28年度  | H29年度  | H30年度  |        |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>(千円) | 職位  |               |   |                |  | 人数 |
| IV-3-<br>(2)-①<br>若年者の<br>就業意識<br>の啓発や<br>能力開発・就職<br>活動への<br>支援 | 54  | <新>「第二新卒」採用促進プロジェクト    | 雇用政策課    | 「20代・30代で初めて転職を行う層＝第二新卒」と捉え、民間転職フェアへの出展に合わせた市内企業の合同説明会の開催、オンラインによる会社説明会の実施等の取組を強力に推進し、未経験者の積極採用を行う市内企業への就職促進を図る。 | 市内企業への就職決定者数                             | 目標           | 50人    | 50人    | 50人    | 50人    | —                    | —                        | 9,000  | —        | 8,995      | 課長<br>0.13人<br>係長<br>0.45人<br>職員<br>0.40人 | —             | 有効求人倍率が1.5倍を記録するなど「売り手市場」による市内企業の手不足は深刻化しており、「第二新卒」や未経験者の採用も増えてきている状況である。また、第二新卒を対象としたアンケートでは、約7割の市内在住の方が転職を考える際に北九州市を考えているという結果が出ている。こうした状況をふまえて、H30年度は20代・30代で初めての転職を行う層＝「第二新卒」をターゲットとした就職支援を実施することで、市内企業・求職者双方の支援を図っていく。 |                |  |    |
|   | 55  | 若者ワークプラザ北九州運営事業        | 雇用政策課    | 若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。                               | 就職決定者数                                   | 目標           | 1,200人 | 1,200人 | 1,200人 | 1,200人 | 継続                   | 71,800                   | 71,552 | 維持       | 8,995      | 課長<br>0.13人<br>係長<br>0.45人<br>職員<br>0.40人 | 順調            | H30年度は、利用者の就業レベルを的確に把握し、効果的なセミナー・講座の企画を検討するとともに、引き続き大学や専門学校などを訪問し、若者ワークプラザのPRを行い、新規利用者の開拓に努める。<br>また、マッチングの効率化を図るため、利用者のニーズに対応した求人開拓を行う作業をマニュアル化し、業務の効率化を図るとともに、マッチング率の向上を図る。   |                | 有効求人倍率が1.5倍を記録するなど、売り手市場の雇用情勢にあるものの、就職活動を実施するにあたって課題を抱えている方、どのように働くか自信を持っていない方などは、就職活動が長期化するケースも多い。このような方たちへの支援について、関係機関とも連携を図りながら引き続き支援を実施する必要がある。<br>また、市外在住の方は、市内の方に比べ市内企業の情報が入手しづらいことから、適切に情報提供できるように、引き続き支援を行う。 |    |
|   | 56  | 北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト | 雇用政策課    | 本市へのU・Iターン就職希望者に対する地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、若年人材等の地元への還流を促進するため、学生等に対するU・Iターン就職活動支援の拡充を図る。         | U・Iターン就職者数（H27年度以降はH27年度からの累計表示）         | 目標           | 400人   | 600人   | 800人   | 800人   | 継続                   | 24,550                   | 22,025 | 減額       | 7,875      | 課長<br>0.05人<br>係長<br>0.10人<br>職員<br>0.84人 | 順調            | H28年度はU・Iターン就職決定者数が過去最高の163名を記録した。H29年度も順調に推移しており、H30年度においても目標の1,000名を捉えるよう、首都圏での移住フェア（ブース出展）や夏季・冬季での相談会（広報キャンペーン）などのイベントを開催し、登録者の確保並びに就職者数の増を目指す。  |                |  |    |
| IV-3-<br>(2)-③<br>能力や意欲を活かした中高年齢者や障害のある人の就業促進                   | 57  | 中高年齢者雇用環境づくり事業         | 雇用政策課    | 中高年齢者就業支援センターを拠点として、中高年齢者に対し就業支援を実施する。また、就業に関連するセミナーを実施する。   | 中高年齢者のマッチング数（累計）                         | 目標           | 1,200人 | 1,800人 | 2,400人 | 2,400人 | 継続                   | 39,969                   | 37,379 | 減額       | 11,190     | 課長<br>0.06人<br>係長<br>0.60人<br>職員<br>0.60人 | 順調            | 中高年齢者に対する就業支援（カウンセリング、能力開発など）マッチング機会の強化、充実を図る。  |                | キャリアカウンセリングから能力開発、就職支援まで求職者のきめ細かなニーズに対応していく。特にシニア・ハローワークの開設をきっかけとして、アクティブシニアへの支援を強化していく。また、セカンドキャリア支援プロジェクトでは、マッチング機会の創出により首都圏等のセカンドキャリア希望者と市内企業の潜在的ニーズを結びつける。   |    |
|   | 58  | シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト | 雇用政策課    | セカンドキャリア支援に関するマッチングを効果的に実施するための仕組みづくりを行う。  | 首都圏等におけるセカンドキャリア転職希望者と市内企業が求める人材との年間仲介件数 | 目標           | 200件   | 200件   | 200件   | 200件   | —                    | 26,750                   | 24,750 | 減額       | 15,400     | 課長<br>0.10人<br>係長<br>1.20人<br>職員<br>0.30人 | —             | 本市でのセカンドキャリア希望者と市内企業の潜在的な人材ニーズとの更なるマッチングを目指し、移住相談との連携強化、イベント開催などによる登録者の増加、オンラインによる面接回数の増加などマッチング機会をより多く創出する。  |                |  |    |

| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施               |     |                         |                            |  |                  |              |           |          |               | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |                      |                      |        |            |        |        |               |  |                |   |
|-----------------------------------|-----|-------------------------|----------------------------|--|------------------|--------------|-----------|----------|---------------|--------------------------|--------|----------------------|----------------------|--------|------------|--------|--------|---------------|--|----------------|---|
| 施策番号・施策名                          | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組     | 主要事業所管理名                   | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績） |              |           |          |               |                          | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円) | 事業費の増減 | 人件費（目安）    |        |        | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   |
|                                   |     |                         |                            |  | 指標名等             | 現状値<br>(基準値) | H28年度     | H29年度    | H30年度         | 中期<br>目標                 |        |                      |                      |        | 金額<br>(千円) | 職位     | 人数     |               |  |                |   |
| IV-4-(1)-①<br>北九州の<br>魅力づくり       | 59  | ＜新＞おさかな<br>ブランド発信事<br>業 | 食の<br>魅力<br>創造・<br>発信<br>室 | こだわりをもった水産物を販売し、取引相手からも信頼される、キラリと光る漁業者のPRを行い消費拡大を図る。                                 | PR動画視聴回数<br>※累計  | 目標           |           |          | 1,000 回       | 6,000回<br>(H31年<br>度)    | —      | —                    | 1,500                | —      | 6,900      | 課長     | 0.10 人 | —             | 食に対する認知度が低い若年層をターゲットに、水産物への興味・関心を持ってもらうために、カリスマ漁師のPR動画を作成し、市の水産物への周知を図る。       | —              | 食に対する認知度が低い若年層をターゲットに、水産物への興味・関心を持ってもらうために、カリスマ漁師のPR動画を作成し、市の水産物への周知を図る。  |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 実績           |           |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 係長     | 0.20 人 |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 達成率          |           |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 職員     | 0.50 人 |               |  |                |   |
| IV-4-(3)-①<br>国内外か<br>らの観光<br>の推進 | 60  | 国際会議等MICE事業の推進          | MICE<br>推進課                | キーパーソン等へ本市の優位性（アクセス・施設・助成金）などをPRするなどの誘致活動を展開することにより、本市での国際会議・大会等のMICE開催を目指す。         | MICE開催件数         | 目標           | 264 件     | 276 件    | 288 件         | 300件<br>(H31年<br>度)      | 継続     | 134,429              | 131,394              | 維持     | 12,400     | 課長     | 0.10 人 | 順調            | 引き続き、ステークホルダーと一丸となりMICE誘致を推進するとともに、特に海外からのインセンティブツアー、いわゆる企業の報奨旅行等の誘致を積極的に取り組む。 | 順調             | 今後ますます激化する都市間競争に打ち勝つため、新たな誘致候補案件を掘り起こすなど積極的な誘致活動への取り組みが必要である。<br>引き続きMICE開催助成金の効果的な活用と併せ、効果的な誘致戦略や活動を行うことで「国際MICE都市北九州」を目指す。<br>また、本市への観光客数の増加に向け、継続してPR・セールス活動を行う。 |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 実績           | 286 件     |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 係長     | 0.60 人 |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 達成率          | 108.3 %   |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 職員     | 0.70 人 |               |  |                |   |
|                                   | 61  | 観光プロモーション推進事業           | 観光課                        | 北九州空港と定期便のある首都圏や九州新幹線・山陽新幹線の沿線都市からの観光客誘客を目的に、国内の旅行エージェントへ旅行商品造成の働きかけを中心としたセールス活動を行う。 | 観光客数             | 目標           | 2,460 万人  | 2,460 万人 | 2,460 万人      | 2,460万人<br>(毎年)          | 継続     | 12,275               | 10,302               | 減額     | 10,820     | 課長     | 0.03 人 | 順調            | 本市の観光客数の増加に向け、継続的にPR・セールス活動を行っていく。   | 順調             |   |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 実績           | 2543.3 万人 |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 係長     | 0.65 人 |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            |  |                  | 達成率          | 103.4 %   |          |               |                          |        |                      |                      |        |            | 職員     | 0.53 人 |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            | 観光客数のうち宿泊者数  | 目標               | 130 万人       | 130 万人    | 130 万人   | 130万人<br>(毎年) |                          |        |                      |                      |        | 課長         | 0.03 人 |        |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            |  | 実績               | 177.5 万人     |           |          |               |                          |        |                      |                      |        | 係長         | 0.65 人 |        |               |  |                |   |
|                                   |     |                         |                            |  | 達成率              | 136.5 %      |           |          |               |                          |        |                      |                      |        | 職員         | 0.53 人 |        |               |  |                |   |



|                                   |     | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施       |              |   |                                     |                     |   |          |          |                      |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |         |          |            |   |               |  |                |   |    |
|-----------------------------------|-----|---------------------------|--------------|---|-------------------------------------|---------------------|---|----------|----------|----------------------|----------------------|--------------------------|---------|----------|------------|---|---------------|--|----------------|---|----|
| 施策番号・施策名                          | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組       | 主要事業所管課名     | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績）                    |                     |   |          |          | 成果の方向性               | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円)     | 事業費の増減  | 人件費（目安）  |            |   | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）   |    |
|                                   |     |                           |              |   | 指標名等                                | 現状値<br>(基準値)        | H28年度   | H29年度    | H30年度    |                      |                      |                          |         | 中期<br>目標 | 金額<br>(千円) | 職位  |               |  |                |   | 人数 |
| IV-4-(3)-②<br>にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充 | 62  | リノベーションまちづくり推進事業          | 商業・サービス産業政策課 | 遊休不動産をリノベーションの手法を活用して再生させ、新規創業者や新規雇用者を創出する。今後は、他地区展開を行うことにより、小倉北区以外のまちなかのにぎわいを拡大させる取り組みを推進する。 | リノベーションまちづくり事業を通じての新規創業者・新規雇用者数（累計） | 122人<br>(H26年度)     | 目標<br>120人<br>実績<br>142人<br>達成率<br>118.3%         | 180人     | 240人     | 300人以上<br>(H27~31年度) | 継続                   | 10,705                   | 10,096  | 減額       | 17,950     | 課長<br>0.30人<br>係長<br>0.70人<br>職員<br>1.00人 | 大変順調          | 小倉都心部での実績を踏まえ、市内各地におけるリノベーションまちづくりの展開に取り組んでいく。<br>また、イベントやセミナーの開催等を通じ、不動産オーナーや事業者の発掘を行う。   | 大変順調           | 雇用の拡大に寄与するほか、「リノベーションまちづくり」と言えば北九州市という認識が全国的に定着し、市のイメージアップにも繋がっている事業である。<br>このように多様な成果が得られている事業であるため、引き続きこれまでの取組を維持していく。<br>さらなる観光客の増加を目指すため、産業観光や夜景観光の資源としての魅力向上やPRを行う。また、産業観光ガイド等の養成に努める。 |    |
|                                   | 63  | 環境・ものづくり観光推進事業            | 観光課          | 産業都市の特性を活かした「産業観光」や工場夜景を含む「夜景観光」の推進を図るとともに、近代化産業遺産などを活用した観光客誘致を行うことで、国内外からの集客及び関連事業の振興を図る。    | 産業観光客数                              | 236,420人<br>(H23年度) | 目標<br>550,000人<br>実績<br>574,190人<br>達成率<br>104.4% | 550,000人 | 580,000人 | 60万人<br>(H31年度)      | 継続                   | 14,540                   | 11,800  | 減額       | 10,800     | 課長<br>0.20人<br>係長<br>0.40人<br>職員<br>0.60人 | 順調            | 観光素材の発掘、磨き上げ、PR等への取り組みを更に推進し、民間事業者とも連携しながら、人材育成や体験型プログラムの拡充など、受入体制の強化を図る。  | 大変順調           |   |    |
|                                   | 64  | 若戸大橋ライトアップによる北九州都市圏魅力向上事業 | 観光課          | 若戸大橋のライトアップの整備を進め、点灯イベントやモニターツアーなどを実施して、夜景観光の促進を図る。   | 夜景観賞クルーズ・ツアー等の夜景観光客数                | 7,000人<br>(H27年度)   | 目標<br>/<br>実績<br>/<br>達成率<br>/                    | /        | 8,000人   | 13,000人<br>(H31年度)   | 継続                   | 90,000                   | 113,000 | 増額       | 5,650      | 課長<br>0.10人<br>係長<br>0.30人<br>職員<br>0.20人 | —             | 若戸大橋ライトアップ施設について、H29年度には電源・幹線等の工事を実施。H30年度には照明器具の製作・設置工事を計画しており、器具代や足場・ネット等の仮設費用がかかるため増額。<br>施設整備にあわせて、点灯イベントやモニターツアー等を実施して夜景観光資源としての魅力向上やPRを行い、夜型観光客の増加につなげていく。 |                |   |    |
| IV-4-(3)-③<br>ホスピタリティの向上          | 65  | 観光振興対策推進事業                | 観光課          | 本市の観光情報発信拠点である観光案内所等でおもてなしの向上に努めることで、観光客数の増加へ繋げるもの。   | 観光客数                                | 2,242万人<br>(H23年)   | 目標<br>2,460万人<br>実績<br>2543.3万人<br>達成率<br>103.4%  | 2,460万人  | 2,460万人  | 2,460万人<br>(毎年)      | 継続                   | 74,493                   | 65,553  | 減額       | 2,845      | 課長<br>0.03人<br>係長<br>0.10人<br>職員<br>0.20人 | 順調            | 「おもてなし」の充実を図るため、今後も継続して事業を実施していく。  | 順調             | 北九州市に訪れた方が「また訪れたい」と思えるよう、案内時等の「おもてなし」向上を図っていく。  |    |
|                                   |     |                           |              |   | 観光客数のうち宿泊者数                         | 119万人<br>(H23年)     | 目標<br>130万人<br>実績<br>177.5万人<br>達成率<br>136.5%     | 130万人    | 130万人    | 130万人<br>(毎年)        |                      |                          |         |          |            |   |               |  |                |   |    |

|  |                        | 【Plan】 計画 / 【Do】 実施 |                |   |                                     |                     |                |                |                             |                      |                      | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |        |          |            |             |               |                                     |                |  |      |   |                |                 |                    |
|--|------------------------|---------------------|----------------|---|-------------------------------------|---------------------|----------------|----------------|-----------------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|--------|----------|------------|-------------|---------------|-------------------------------------|----------------|--|------|---|----------------|-----------------|--------------------|
| 施策番号・施策名                               | No.                    | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管課名       | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績）                    |                     |                |                |                             | 成果の方向性               | H29年度<br>予算額<br>（千円） | H30年度<br>予算額<br>（千円）     | 事業費の増減 | 人件費（目安）  |            |             | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  |      |   |                |                 |                    |
|  |                        |                     |                |   | 指標名等                                | 現状値<br>（基準値）        | H28年度          | H29年度          | H30年度                       |                      |                      |                          |        | 中期<br>目標 | 金額<br>（千円） | 職位          |               |                                     |                |  | 人数   |   |                |                 |                    |
| V-1-<br>(2)-①<br>都心のにぎわいづくり            | 66                     | 街なか商業魅力向上事業         | 商業・サービス産業政策課   | 「北九州市新成長戦略」の「街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化」に位置づけられた小倉地区の商店街の活性化を支援するため、商業活性化懇話会運営事業・フォローアップ調査事業を実施。   | 小倉地区商店街エリアの空き店舗率（％）                 | 8.4%<br>(H27年度)     | 8.3%<br>目標     | 8.2%<br>実績     | 8.1%<br>達成率                 | 8.0%<br>(H31年度)      | 継続                   | 6,360                    | 5,990  | 減額       | 6,150      | 課長<br>0.10人 | 係長<br>0.20人   | 職員<br>0.40人                         | 順調             | 商業活性化の取組を検討する商業活性化懇話会において、具体的な課題解決につながる情報共有、意見交換を促し、活性化の取組につなげる。                     | 順調   | 小倉地区での商業活性化懇話会の活動をより活発なものへと導くとともに、インバウンド需要の取込み、中心市街地の商業の活性化を図る。   |                |                 |                    |
|  | 小倉地区商店街エリアの歩行者通行量（人/日） | 142,683人<br>(H27年度) | 144,110人<br>目標 | 145,536人<br>実績  | 146,962人<br>達成率                     | 148,390人<br>(H31年度) | 144,110人<br>目標 | 145,536人<br>実績 | 146,962人<br>達成率             | 144,110人<br>目標       |                      |                          |        |          |            |             |               |                                     |                |  |      |   | 145,536人<br>実績 | 146,962人<br>達成率 | 55,000人<br>(H27年度) |
| V-1-<br>(2)-②<br>文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり | 68                     | 街なか商業魅力向上事業         | 商業・サービス産業政策課   | 「北九州市新成長戦略」の「街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化」に位置づけられた黒崎地区の商店街の活性化を支援するため、商業活性化懇話会運営事業・フォローアップ調査事業を実施。   | 黒崎地区商店街エリアの空き店舗率（％）                 | 16.8%<br>(H27年度)    | 16.8%<br>目標    | 16.7%<br>実績    | 16.6%<br>達成率                | 16.5%<br>(H31年度)     | 継続                   | 6,360                    | 5,990  | 減額       | 6,150      | 課長<br>0.10人 | 係長<br>0.20人   | 職員<br>0.40人                         | 順調             | 黒崎地区での商業活性化懇話会から派生した具体的な取組を継続してサポートしていくこと等により、中心市街地の商業の活性化を図る。                       | 順調   | 黒崎地区での商業活性化懇話会から派生した具体的な取組を継続してサポートしていくこと等により、中心市街地の商業の活性化を図る。  |                |                 |                    |
|  | 黒崎地区商店街エリアの歩行者通行量（人/日） | 16,207人<br>(H27年度)  | 16,369人<br>目標  | 16,531人<br>実績   | 16,693人<br>達成率                      | 16,855人<br>(H31年度)  | 16,369人<br>目標  | 16,531人<br>実績  | 16,693人<br>達成率              | 16,369人<br>目標        |                      |                          |        |          |            |             |               |                                     |                |  |      |   | 16,531人<br>実績  | 16,693人<br>達成率  | 16.8%<br>目標        |
| V-1-<br>(2)-③<br>未利用地等の活用              | 69                     | リノベーションまちづくり推進事業    | 商業・サービス産業政策課   | 遊休不動産をリノベーションの手法を活用して再生させ、新規創業者や新規雇用者を創出する。今後は、他地区展開を行うことにより、小倉北区以外のまちなかのにぎわいを拡大させる取り組みを推進する。 | リノベーションまちづくり事業を通じての新規創業者・新規雇用者数（累計） | 122人<br>(H26年度)     | 120人<br>目標     | 142人<br>実績     | 180人<br>180人<br>240人<br>達成率 | 300人以上<br>(H27～31年度) | 継続                   | 10,705                   | 10,096 | 減額       | 17,950     | 課長<br>0.30人 | 係長<br>0.70人   | 職員<br>1.00人                         | 大変順調           | 小倉都心部での実績を踏まえ、市内各地におけるリノベーションまちづくりの展開に取り組んでいく。また、イベントやセミナー等の開催を通じ、不動産オーナーや事業者の発掘を行う。 | 大変順調 | 都心の空間利用に寄与するほか、「リノベーションまちづくり」と言えば北九州市」という認識が全国的に定着し、市のイメージアップにも繋がっている事業である。このように多様な成果が得られている事業であるため、引き続きこれまでの取組を維持していく。 |                |                 |                    |
|  | リノベーションまちづくりにおける事業化件数  | 4件<br>(H24年度)       | 4件<br>目標       | 11件<br>実績   | 4件<br>4件<br>2件<br>達成率               | 2件<br>(H30年度以降毎年度)  | 4件<br>目標       | 11件<br>実績      | 275.0%<br>達成率               |                      |                      |                          |        |          |            |             |               |                                     |                |  |      |   |                |                 |                    |

| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施          |     |                     |          |  |  |                                 |           |           |           | 【Check】 評価 / 【Action】 改善  |                      |                      |           |          |            |              |               |                                     |                |  |    |   |
|------------------------------|-----|---------------------|----------|--|--|---------------------------------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|----------------------|----------------------|-----------|----------|------------|--------------|---------------|-------------------------------------|----------------|--|----|---|
| 施策番号・施策名                     | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管課名 | 事業・取組概要  | 事業評価の成果指標（目標・実績）   |                                 |           |           |           | 成果の方向性                    | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円) | 事業費の増減    | 人件費（目安）  |            |              | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等） | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  |    |   |
|                              |     |                     |          |  | 指標名等   | 現状値<br>(基準値)                    | H28年度     | H29年度     | H30年度     |                           |                      |                      |           | 中期<br>目標 | 金額<br>(千円) | 職位           |               |                                     |                |  | 人数 |   |
| V-1-(3)-②<br>産業拠点の整備         | 70  | 北九州空港跡地産業団地整備事業     | 企業立地支援課  | 北九州空港跡地産業団地の整備を行う。   | 分譲率  | 67%<br>(H25年度)                  | 77 %      | 79 %      | 80 %      | 分譲率<br>100%<br>(H33年度)    | 継続                   | 237,293              | 211,834   | 減額       | 6,550      | 課長<br>0.20 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.30 人                        | 順調             | 複数企業へ積極的な当該地域のPRを行い、土地のスムーズな分譲を行うために、関係各課と連携し、スピード感を持って、団地整備に取り組んでいく。  | 順調 | 複数企業へ積極的な当該地域のPRを行い、土地のスムーズな分譲を行うために、関係各課と連携し、スピード感を持って取り組んでいく。   |
| V-1-(3)-④<br>広域観光拠点の整備       | 71  | 関門海峡都市・観光まちびらき事業    | 門司港レトロ課  | 門司港レトロ地区とともに、関門海峡という共通の財産を持つ北九州市と下関市において、さらなる魅力向上施策を推進し、観光客誘致や観光消費の増加を促進する。  | 有料観光施設の利用者数  | 平成28年度有料施設<br>設入館者数<br>685,640人 | 710,000 人 | 710,000 人 | 710,000 人 | 71万人<br>(毎年度)             | 継続                   | 293,918              | 1,108,323 | 増額       | 38,350     | 課長<br>0.40 人 | 係長<br>1.50 人  | 職員<br>2.50 人                        | 順調             | 平成28年度の有料観光施設利用者数は目標に僅かに到達しなかったが、平成28年4月に発生した熊本地震など、不安定な要素が多い中、インパウンドの増加などもあり、門司港レトロ地区全体（無料部分も含む）では概ね前年度を上回る入館者数を確保できた。平成30年度は、展示更新工事の開始に伴い関門海峡ミュージアムの閉館などが行われるが、ライトアップ工事の開始や、門司港駅のリニューアルオープン・ななつ星の立ち寄りに伴うイベント開催など、観光客誘致のための取組みをより一層推進していく方針である。 | 順調 | 熊本地震の影響などもある中で、海外を含む団体観光客の誘致等により、門司港レトロ地区の観光客数は増加している。平成30年度は、観光客のさらなる集客に向けた事業や、新たな魅力づくりにむけた施策、観光地としての機能を低下させないための補修等を実施していく。 |
| VI-2-(1)-③<br>総合的な緑化・森林整備の実施 | 72  | 荒廃森林再生事業            | 農林課      | 森林は、水を貯え、土砂災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなどの公益的機能の働きによって、市民の生活にさまざまな恵みを与えている。しかし、長期間手入れがなされず、荒廃した森林が増え、このような働きが低下し、市民の生活に重大な影響を及ぼすことが懸念されている。このため、平成20年度に創設された「福岡県森林環境税」を活用し、荒廃した森林の再生を推進する。 | 荒廃が進んでいる私有林のスギ林やヒノキ林の整備面積                                | 271ha<br>(H23年度)                | 960 ha    | 1,124 ha  |           | H29年度までに<br>1,124ha<br>整備 | 継続                   | 64,516               | 51,685    | 減額       | 5,575      | 課長<br>0.05 人 | 係長<br>0.20 人  | 職員<br>0.40 人                        | 順調             | 引き続き、森林所有者の理解と協力を得るための「説明会の実施」や「広報活動」に積極的に取り組むとともに、本市の森林の再生に必要な事業を推進する。  | 順調 | 引き続き、荒廃した森林を整備し、水源のかん養や山地災害の防止等森林が有する公益的機能の向上を図るとともに、森林所有者の理解と協力を得て、本市の森林の再生に必要な事業を推進する。                                      |
|                              |     |                     |          |  | 平成30年度から平成39年度の10年間で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある私有林のスギ林やヒノキ林の整備面積 | 0ha<br>(H29年度)                  |           |           | 60 ha     | H34年度までに<br>300ha<br>整備   |                      |                      |           |          |            |              |               |                                     |                |  |    |   |



| 【Plan】 計画 / 【Do】 実施              |     |                     |           |   |                  |              |         |         |         |                 |        |                      |                      |        | 【Check】 評価 / 【Action】 改善 |     |         |               |  |                |   |
|----------------------------------|-----|---------------------|-----------|---|------------------|--------------|---------|---------|---------|-----------------|--------|----------------------|----------------------|--------|--------------------------|-----|---------|---------------|--|----------------|---|
| 施策番号・施策名                         | No. | 基本計画の施策を構成する主な事業・取組 | 主要事業所管理課名 | 事業・取組概要   | 事業評価の成果指標（目標・実績） |              |         |         |         |                 | 成果の方向性 | H29年度<br>予算額<br>(千円) | H30年度<br>予算額<br>(千円) | 事業費の増減 | 人件費（目安）                  |     |         | H28年度<br>事業評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）  | H28年度<br>局施策評価 | H30年度に向けて強化・見直した内容<br>（課題に対する改善方法等）                     |
|                                  |     |                     |           |   | 指標名等             | 現状値<br>(基準値) | H28年度   | H29年度   | H30年度   | 中期目標            |        |                      |                      |        | 金額<br>(千円)               | 職位  | 人数      |               |  |                |   |
| VII-2-(1)-③<br>北九州発ブランドの海外ビジネス支援 | 77  | 国際競争力強化支援事業         | 国際ビジネス政策課 | 北九州市、ジェトロ北九州、(公社)北九州貿易協会の3機関で設置している「北九州貿易・投資ワンストップ(KTIセンター)」において、販路開拓、部品調達など地元企業の国際ビジネス推進を支援することにより、企業の国際競争力の向上を図る。 | 外国企業との商談件数       | 目標           | 1,500 件 | 1,500 件 | 1,500 件 | 1,500件<br>(毎年度) | 継続     | 23,347               | 21,855               | 減額     | 44,080                   | 課長  | 0.22 人  | 順調            | 事業実施にあたり「選択と集中」により支援対象国を絞り重点的に行うこととした。引き続き、市内企業のニーズに柔軟に対応し、成約に繋がる効率的な商談機会の創出に努める。  | 順調             | 引き続き、商談機会の創出に努め、市内企業の更なる競争力強化を図る。                       |
|                                  |     |                     |           |   |                  | 実績           | 1,562 件 |         |         |                 |        |                      |                      |        |                          | 達成率 | 104.1 % |               |  |                |   |
|                                  |     |                     |           |   | 外国企業との成約件数       | 目標           | 20 件    | 20 件    | 20 件    | 20件<br>(毎年度)    |        |                      |                      |        |                          | 職員  | 2.66 人  |               |  |                |   |
|                                  |     |                     |           |   |                  | 実績           | 27 件    |         |         |                 |        |                      |                      |        |                          | 達成率 | 135.0 % |               |  |                |   |
| VII-2-(3)-①<br>アジアから本市への投資の呼び込み  | 78  | 国際競争力強化支援事業         | 国際ビジネス政策課 | 海外企業の本市進出や、地元企業との事業連携等を促進するため、ジェトロ北九州や県などの関係機関と連携して、本市のビジネス環境などのPRを積極的に行うとともに、PRに必要なツールの作成・整備を行う。                   | 本市への外国企業・機関の進出件数 | 目標           | 1 件     | 1 件     | 1 件     | 1件<br>(毎年度)     | 継続     | 2,150                | 1,210                | その他    | 7,515                    | 課長  | 0.11 人  | 順調            | 政府は、平成25年「日本再興戦略」において、対内直接投資残高を倍増することを掲げ、さらに平成28年「日本再興戦略改訂版」においては、対内直接投資誘致を強化することとした。<br>本市においても、国の流れに乗り、投資環境のPRツールによる効果的な広報活動を行う。また、関係機関と連携しながら外国企業・機関の誘致を積極的に行い、進出事例の創出に努める。 | 順調             | 引き続き、国の流れに乗り、本市の投資環境をPRするための環境整備や、海外企業等に対して効果的な広報を実施する。 |
|                                  |     |                     |           |   |                  | 実績           | 0 件     |         |         |                 |        |                      |                      |        |                          | 達成率 | 0.0 %   |               |  |                |   |
|                                  |     |                     |           |   | 視察受入企業数          | 目標           | 70 社    | 70 社    | 70 社    | 70社<br>(毎年度)    |        |                      |                      |        |                          | 職員  | 0.50 人  |               |  |                |   |
|                                  |     |                     |           |   |                  | 実績           | 108 社   |         |         |                 |        |                      |                      |        |                          | 達成率 | 154.3 % |               |  |                |   |